

Habitat for Humanity Thailand 訪問調査記録

[訪問日時]

2019年11月8日(金) 10:00 – 12:00

[場所]

Habitat for Humanity Thailand 本部
253 Building, 12/F, 253, Sukumvit 21 Road (Asoke), Klongtoey Nua, Wattana,
Bangkok, Thailand

[先方]

Timothy Loke (CEO)
Roungratchanee Bouniem (Manager/Resource Management)

[当方]

ジェンキンソン陽、田中直、パウイーティダ・サンウォンパタンサクン、堀尾孝子

[内容]

○設立経緯

世界 70 ケ国以上で住宅支援を行う国際 NGO、Habitat for Humanity International(1976 年設立)を母体として、1998 年に設立。住宅建設とコミュニティ開発を通じて、タイの人々の生活向上をはかることをめざしている。

○活動と組織

これまでに、タイの北部、中部、南部で、11,500 軒以上の住宅を支援(建設、修理、リハビリ)、裨益者は 46,000 人。住宅支援とともに、水と衛生、収入向上(園芸、魚の養殖等)のコミュニティ開発活動も行っている。

住宅支援を行う条件として、対象者が土地を所有しているか、長期的に土地を使用できることが保証されていること、信頼できる人であること(麻薬やアルコールの問題がない、コミュニティの中で信頼されている)などがある。

建設費は、250,000 バーツ(約 9,000 米ドル)、広さ 42m² (間取りは選択可)、建設期間は 45 日である。建設費は、Habitat for Humanity Thailand(以下、HFHT)が、スポンサーを探して援助する。ひとつのコミュニティに一軒の場合と、ロングハウスのように、何軒ものクラスターとして建設する場合とがある。技術的には格別なことはなく、レンガと波形状屋根部材を用いた通常の住宅である。

現在、47 名のスタッフが活動しており、年間予算は、1.5～2 百米ドルである。

(ディスカッション)

- ・APEX のコミュニティ排水処理技術について説明し、HFHT の住宅では生活排水処理はどのような処理をしているか聞いたところ、トイレ排水・生活雑排水を含むすべての排水を、地面に垂直に埋め込んだ直径 60cm の円筒状コンクリート管に流し込んでおり、その底は開放されているとのことであった。それでは地下水汚染、土壌汚染をまぬがれないという点、協力してコミュニティ排水処理施設を設置することに関心を示し、チェンマイのカーター・ワークという 82 軒のコミュニティを候補地としてあげていた。

(感想)

- ・技術的には格別なものはないものの、着実に実績を上げていることが感じられた。(田中)
- ・ただ与えるだけだと大切に使用してもらえないため、自分のものだという意識を育めるように家の建設を手伝ってもらう、など住民参加を促しているところが適正技術的だと感じた。各地域にあわせて、住民の気持ちまで配慮して支援をしているところに好感が持てた。(ジェンキンソン)

